



新☆びゃくか (白花) たより

手打ちそばぐる〜び

白花

第34号：29.5.20

代表の山ちゃんが新会社を設立しました。そのため今月は書類整理等で忙しいので欠席です。



まず、今日までのそば打ち関係行事やイベントなどの報告です。

4月30日に「上砂川生粉打ち大会」があり、KAZIさん、たがさんが参加しました。

「そば粉がまるで砂のような粗い粉だった。」とおっしゃっておられましたが、参加者70名中、たがさんは4位入賞！（おめでとうございます！）

5月例会は副代表のタガさんの司会により進行します。

過度のそば打ちの練習がたたひ、札幌市立病院で右肩の筋断裂を修復する手術を受け入院していた Mu-さんが、17日に無事退院され例会に出席されました。

肩の筋肉を断裂するほど、厳しいそば打ち指導する指導者が、白花にはいるんですね。（tanboさん：反省します！！）



たがさんいわく、「これから上段位を目指す人は、生粉打ちを体得することは必須だ！」

また、石狩大会で二段位認定会に挑戦したトスカさんは、惜しくも届かなかったようです。（残念）

10月には江別大会もありますから、猛練習してリベンジして下さい。

今月の例会は14名の出席でした。

中でも紅一点の女性出席者 TOMOさんは、TAKAさんの計らいで、厨房に入らず、そば打ちに専念することができ、痛み上がりの Mu-さんの徹底指導を受けていました。



大変お疲れ様でした。徹底指導で何か得られたものはありましたか？（感想を聞きたかったです。肩を壊さない様に。）



今月は、白花の活動状況(いやtanboさんの雄姿を見にかな?)を見てみたいとのことで、tanboさんと同郷で島根県出身のお3方が来場されました。

お一方は NTT 勤務のご夫婦、もうお一方は札幌交響楽団所属のヴァイオリン奏者の女性です。

お3方とも、初めて見るそば打ちに感心しきりで、難しそうなおそば打ちの工程にいろいろと質問してみたかっただけですが、真剣に黙々とそば打ちに没頭するメンバーの独特な雰囲気呑み込まれ、島根県人独特の謙虚な気持ちでおさえられたようです。

しかも、初めて食べる「打ち立て、茹でたての手打ちそば」の味は想像以上だったようで、KAZIさんが別なそば粉で打ったそばも食べさせていただき、感謝感激のようでした。

メンバーのそば打ちは、いつものようにたがさん、G10さんが細かい動作までしっかりと見て、具体的に打って見せて指導していました。

女性ヴァイオリニストは、お昼すぎに「キタラ」に戻らなければならなかったため、お3方はG10さんの打った細麺と、tanboさん特製のそばつゆを手土産に帰ることとなりました。

後日、手打ちそばに感激した旨のお礼メールがありました。

札幌の女性ヴァイオリニストと、当日は来ていませんでしたが、札幌ドーム勤務の女性が、そば打ちに興味を持っているとの情報があります。

でも、指を怪我するとヴァイオリンを弾けなくなるので、そば打ち体験等は慎重にお願いします。

〔近況報告〕

おがGが留萌に転勤となって、早2ヶ月が経とうとしてますが、5月中旬のある日、局長室で重要な打ち合わせ中に突然の来客

者があり、その方の名刺を見ると「株式会社●●●● 常務取締役札幌支店長(本名)」となっています。一瞬、目を疑いましたが、良く知るお名前です。

なんと、たがさんが職場を訪ねてくださったのです!

小1時間でしたが、僕の個室でお話しさせていただきました。

白花の全麵協への加入手続きがやたら面倒で、3回ほど提出書類のだめ出しをくらったこと、白花に女性が加入して、例会に参加してくれると、格段に華やかになりとても楽しいこと、今後の白花の運営に関し役員会を開催したいことなどなど。たが副代表も苦勞してるんだなあと思いました。

お昼になって、「ラーメンでも食べに行こうか」と誘っていただいたんですが、おがGはほぼ毎日弁当をつくって持っているため、残念でしたが丁重にお断りしました。(たがさん、ごめんなさい。今度来られる時には事前にご連絡をいただければ、弁当をつくらずに、お昼ご一緒します。)

みなさんも、留萌にお越しの際は、是非ご一報ください。夜ならお酒の美味しい店にご案内します。